



一人でも多くの方に伝えたい
音楽の楽しさ

和田綾佳さん (26歳・持田)

今年の5月に熊谷文化創造館さくらめいとでコンサートを開催した女性ピアノニストグループ「クレール」。二台のピアノをメンバー全員で自由自在に操りながら演奏するなど、ユニークなパフォーマンスで観客を魅了しました。そのメンバーとして活躍中のピアノニストが、今月紹介する和田綾佳さんです。

和田さんがピアノを始めたのは、3歳のとき。二人の姉がピアノの発表会で、抱えきれないほどの花束をもらっている姿を見て自分もやる決心をしたそうです。8歳のときには、全国コンクールで奨励賞を受賞するなど、すぐに音楽の才能を開花させていきました。

中学時代は、ピアノを続けながら、陸上部に所属。短距離の選手として関東大会で入賞するなど、注目を浴びる存在となった和田さんは、陸上の強豪校から入学の誘いを受けたそうです。高校進学の際に大変悩んだ結果、



一生継続けられる仕事として、ピアノの道に進むことを選択。県立大宮光陵高等学校の音楽科に入学し、1年生の時には、彩の国・埼玉ピアノコンクールで銀賞を受賞するなど輝かしい成績を残しました。

東京音楽大学、そして大学院へと進学した和田さん。「心から尊敬する教授や大切な仲間と巡り会ったことで、音楽の素晴らしさを深く追求することができました」と当時の学生生活を振り返ります。大学院在学中に、大学時代から同じ時間を過ごした仲間と共に「クレール」を結成。「明るい、清らかな、輝く」という意味を持つこのグループ名には、「音楽を通じて一人ひとりが輝けるように」という願いが込められているそうです。

現在、和田さんはクレールとしてコンサートを行う傍ら、行田アンサンブル協会の一員として、また一人のピアノニストとして各地でコンサート活動を展開。「コンサートで出会えた皆さんの笑顔を見ると、勇気づけられ、ピアノをやったよかったと感じます」とほほ笑みます。

ピアノをより身近に感じてもらうようと、さまざまなジャンルの曲に挑戦中の和田さん。「一人でも多くの方に音楽を楽しんでもらいたい。そんなお手伝いができたらいいですね」と抱負を語るとともに、「いつも応援していただいている皆さんに深く感謝しています」と述べたその瞳は、グループ名のようにキラキラと輝いていました。

私の作品

俳句

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

向町 佐藤 猶子
新人児走れば踊るランドセル

荒木 小林 康男
ひとりずつ児等の宇宙やしゅぼん玉

谷郷 高橋 保子
種を蒔く農夫は指の確かさで

須加 須加 照代
生活を仕切り直して四月かな

忍 飯島 素子
湧水を詰めておみやに春の旅

荒木 藤田 栄之
軽々と小家抱へる花水木

埼玉 杉山 典子
堰の水微笑む面に散る桜

荒木 蛭間しげ子
陽に映えてまぶしき桜亡母想う

城西 西田吉之助
雲雀鳴く昔の田圃佇みて

渡柳 長森 イセ
鯉のぼり空気吸いこみ舞上る

棚田町 賤津ミチエ
老若に分つ笑顔の花吹雪

城南 町田 達男
春光や見上げる空にとんびの輪

持田 二瓶 弘子
散り際も水面に誇る花吹雪

下忍 阿部 義之
残雪や男体・榛名・赤城山

城南 関口 操
秩父路をS L走る芝桜

(木島 斗川 監修)



「鳥の紙細工」
吉田君子 (持田)

はじめまして

平成23年
6月生まれの
おともだち



五十部 圭飛ちゃん(桜町)
父・浩さん 母・和子さん
平成23年6月13日生まれ
「☆明るく元気な人気者☆」



渡辺 翔大ちゃん(棚田町)
父・敏彦さん 母・正子さん
平成23年6月29日生まれ
「翔大の笑顔で家族も幸せ！」



田島 和樹ちゃん(野)
父・和久さん 母・妙子さん
平成23年6月8日生まれ
「これからも元気で笑顔で！」



吉野 桜太ちゃん(佐間)
父・憲司さん 母・理恵さん
平成23年6月22日生まれ
「我が家の癒し系♡」



平川 ここねちゃん(宮本)
父・隆大さん 母・弘美さん
平成23年6月13日生まれ
「笑顔がありがとう!!」

平成23年8月生まれの
お子さんを募集します

○6月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、7月4日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



わかやか サークル

しんきどう 心希道空手行田支部

～空手で心身ともにたくましく～



今月紹介する心希道空手行田支部は、「幼児期からさまざまな年齢層の中で体を鍛えることが、子供たちの健全な育成につながる」という考えの

もと、空手による幼児教育に力を注いでいるクラブです。礼儀を重んじる空手を通じて、肉体だけでなく精神面でも成長することが期待できます。

毎週火曜日の午後6時30分から8時30分まで、南河原小学校の体育館で活動している同クラブ。レベルに応じて白から黒まで7種類の帯を締め、白い道着に身を包んだ幼児から中学生まで男女20人が空手に励んでいます。

同クラブの活動は、上級者から空手の基礎や心を学ぶ「練習」と、それを応用し自らの力を試す「けいこ」から成ります。練習では、基本動作となる型や組手はもちろんのこと、あいさつの仕方や話の聞き方など、空手に必要な礼儀作法を学びます。「まずは空手を楽しむこと」を信条とする同クラブの幼児はみんな元気いっぱい。しかし、練習が始まると、騒がしかった子供たちの声はぴたりとやみ、先輩の教えを吸収して少しでも強くなるうと、集中して取り組んでいます。その姿勢からは、どれだけ空手に夢中に

なっているかが伝わってきました。

練習が終わると、師範の吉野真悟さんを前に、黒帯など、より高みを目指す子供たちのための厳しいけいこが行われます。練習と異なるのは、技術について指導されないこと。師範が見つめる中、子供たちは今までの経験を基に、型や組手を行います。けいこでは、「今日はよくできた」「あの人は上手だな」と自己認識し、他者を認めることが大切だそうです。

練習を経てけいこへと、空手の心や技術を培うことで人間形成ができる同クラブ。「集団生活を通して人間的にたくましくなってきたように思いますが、周囲の環境に育てられている気がしますね」と、メンバーの母親も話します。子供たちが自らコミュニケーションを形成し、心身ともに成長することができる同クラブの活動に興味のある方は、ぜひ一度活動風景をのぞきにきてはいかがでしょうか。



▶問い合わせ
中戸 ☎ 090-2629-5096